



久米島町子どもの  
読書週間「保育所訪問」

「久米島町こどもの読書週間」に合わせ、5月9日～12日に町内4保育園(所)にて「読み聞かせ会」が行われました。

今年も読み聞かせボランティアが協力し、紙しばいと絵本の読み聞かせを行い、本の楽しさを伝えました。子どもたちはお話を夢中で鑑賞したあと、大型絵本を読んだり、本に触れ親しみました。たくさん本に触れ、感性や知性を育てたいです。

おかえり「にっぽん丸」  
クルーズ客船 330名を乗せ来島

クルーズ客船「にっぽん丸」が4月17日に久米島へ寄港しました。昨年に続き2度目の来島で、今年は那覇を出発し南大東と久米島観光を楽しむ3泊4日のコース。仲里漁港沖に停泊し、通船にて久米島へ上陸したあと、バスツアーなどで島内観光を楽しんでいました。当日、仲里漁港では、なでしこ保育園児による和太鼓の演舞で出迎えし、情報プラザ駐車場では特設物産販売会を開催するなど来島を歓迎しました。



久米島の春の風物詩  
癒しの光

久米島のホタル観察会(教育委員会主催・久米島ホテルの会共催)が4月28日・5月10日に開催され、両日合わせて約80名が参加しました。観察会では、スライドでホタルの生態を学んだあと、28日はクメジマボタルを、10日は陸生のホタルを観察。参加者は地上を舞うホタルの美しい光をしばらく見入っていました。また、28日は「ホタレンジャー」の認定式もあり、環境省より認定証が授与されました。



守りたい海がここにある  
久米島美ら海環境基金贈呈

久米島のもずくを育む美しい海を守ることを目的とした「久米島美ら海環境基金」の贈呈式が4月14日、仲里庁舎で行われ849,741円が贈呈されました。この基金は「大阪いずみ市民生協」と「わかやま市民生協」の協同購入と店舗での久米島産もずくの売り上げ1パックにつき3円を製造元の(株)海産物のきむらやで積み立ててきたものです。海岸の漂着ゴミの除去、赤土流出防止等の環境保護活動等に使われます。



空とぶ図書館in久米島  
沖縄県立移動図書館

4月29日と30日の両日、具志川改善センターにて「空とぶ図書館in久米島」が行われました。紙芝居や絵本その他、児童生徒向けの本や趣味(料理、子育て)本がずらりと揃い、子どもたちは楽しそうに本を選んでいました。初日から多くの来場者が訪れ、両日で約200名が来場し、約1,300冊の本が貸し出されました。返却期日は5月30日(火)となっておりますので、返却忘れがないようお願いします。



楽天イーグルスより  
オリジナル野球帽の寄贈

島内小学校新1年生全員に入学記念として楽天イーグルスよりオリジナル野球帽が寄贈されました。学校に届いた帽子が配布されると児童らは、うれしそうに野外活動などですぐに着用していました。帽子には入学年である「2017」が刻まれ、小学校生活を安全で楽しく過ごせるようにとの願いがこめられています。これは地域密着活動の一環として楽天イーグルスが2014年より実施し、今年で4年目となっています。



ICTで地産地消を目指して  
ICT街づくり推進会議意見交換会

総務省が進めているICT街づくり推進会議の地域意見交換会4月12日に仲里庁舎で行われました。岡素之座長(住友商事相談役)他12名が来島し、町、商工会、NPO法人くめじま、(合)山里ゆんたく市場が出席し、農産物の地産地消の推進について意見交換を行いました。その後、山里ゆんたく市場、海洋温度差発電施設を視察し、地産地消の取組、深層水を活用した「久米島モデル」などの説明を受けました。



お母さん いつもありがとう  
母の日プレゼント作り  
「しぼり染め教室」

5月13日、久米島紬の里ユイマール館にて、母の日プレゼントづくり「しぼり染め教室」(教育委員会主催)が行われました。参加した園児・児童ら29名は、日ごろ愛情をたっぷり注いでくれるお母さんへ感謝の気持ちを込め、島の草木染めを用いた「バンダナ・ストール」を作りました。世界に一つしかないオリジナルの作品に仕上げ、心のこもった母の日プレゼントが完成しました。

